



チャリティーコンサート

2004
第1回 中部大学音楽祭

2004年 12月 11日(土)
愛知県芸術劇場コンサートホール

学校法人中部大学

ごあいさつ

学校法人中部大学理事長
大西良三

本日は、ようこそ、中部大学の第1回音楽祭「チャリティー・コンサート」へおいでくださいました。心からお礼申し上げます。

中部大学の母体でありました「学校法人三浦学園」には、中部大学の他に、春日丘高等学校と春日丘中学校と名古屋第一高等学校（現在の中部大学第一高等学校）と中部大学技術文化専門学校（現在の中部大学技術・医療専門学校）の5校がふくまれていました。この5校にはそれぞれに多くの音楽クラブがあり、その中の10クラブほどが一堂に会して、毎年秋に「三浦学園音楽祭」を開いてきました。延べ300人以上の学生・生徒が集まって、技を競い、友情を育んできましたが、その音楽祭も、昨年で第29回を迎えました。そして、大学以外の各学校は、それぞれ独立の学校音楽祭を持つことになりました。

今年から、「学校法人三浦学園」が「学校法人中部大学」と名称を改めたのに伴い、中部大学の音楽クラブ5団体のすべてが、結束新たに、「中部大学音楽祭」として、この愛知芸術劇場コンサート・ホールで演奏会をひらくことになりました。

また、今回の演奏会を開催するにあたり、「春日井市民第九演奏会」のご関係者のみなさまの多大なるご協力を得ました。ありがとうございます。

それでは、多彩な演奏会となりました第1回中部大学音楽祭を最後までお楽しみ下さい。

謝辞

中部大学音楽祭実行委員長
三浦昌夫（中部大学学監）

第1回中部大学音楽祭を、少しでも、多くみなさまのお役に立つように「チャリティー・コンサート」にいたしました。そのため、春日井市と「春日井市民第九演奏会」のみなさまのご賛同を得て、第2部のステージで、ベートーヴェンの第九交響曲の第4楽章「歓喜の歌」を歌うものです。

春日井市では、毎年、市民によるベートーヴェンの「交響曲第九」の演奏会が開かれています。平成3年に、春日井市制施行50周年の記念事業として、新たに市民オーケストラである「春日井市交響楽団」を創立し、「春日井市民第九合唱団」を結成して以来のことです。今年も、先日の12月5日に第12回「春日井市民第九演奏会」が大きな感動の内に終わりました。この「春日井第九」の熱意あふれる演奏を名古屋のみなさまにご紹介出来ることは、会長を務めております私にとりまして大きな喜びであります。

指揮者は、今年の「春日井第九」で素晴らしい演奏を繰り広げたヨッヘム・ホッホシュテンバッハさんです。いまヨーロッパでご活躍のロビン・アダムズさんをはじめ、百々あずさん、野上貴子さん、川野名康夫さんの4名のみなさんを、ソリストとして、引き続きこの名古屋のステージにもお招きすることができました。合唱とオーケストラには、大学の各クラブのメンバーと教職員も加わります。

チャリティー・コンサートの成果をさらに大きなものにいたすべく、なにとぞ一層のご協力をお願いいたします。

第一部

中部大学青春の響き ～中部大学の音楽クラブによる演奏～

●中部大学マンドリンクラブ

丘を越えて	作曲：古賀政男
ロンドンデリーの唄	アイルランド・ロンドンデリー地方民謡
ハンガリアン舞曲第5番	作曲：ヨハネス・ブラームス
美しき青きドナウ	作曲：ヨハン・シュトラウスJr. 以上編曲：中野優

●中部大学ナチュラルサウンズ・ジャズ・オーケストラ

Wind Machine	作曲：カウント・ベイシー	編曲：サミー・ネスティコ
Night Flight	作曲：サミー・ネスティコ	
I'm beginning to see the light	作曲：サミー・ネスティコ	

●中部大学混声合唱団

[唱歌] 組曲 作曲：千原英喜
第1楽章 第2楽章 第3楽章

●中部大学シンフォニックバンド

キューバ序曲 作曲：ジョージ・ガーシュイン
ジャパニーズグラフィティ IX いい日旅立ち
編曲：金山 徹

●中部大学管弦楽団

ハイドンの主題による変奏曲
作曲：ヨハネス・ブラームス

第二部

歓喜の合唱～ベートーヴェン作曲「交響曲第九番」第4楽章～

●中部大学音楽祭オーケストラ・合唱団

●賛助出演：春日井市交響楽団 春日井第九合唱団

指揮：ヨッヘム・ホッホシュテンバッハ
独唱：百々あずさ
野上 貴子
川野名康夫
ロビン・アダムズ

「第九交響曲」の演奏者の一部が変更になりました。ご了承下さい。

みんなで歌おう、人間賛歌を

< 歓喜の歌 >

作詞 ● なかにし礼

1、あ い こ そ か ん き に み ち
び く ひ ー か り さ え ぎ る
く な ん を こ え て す す ー ま
ん か ん き の い た ー だ き
ふ み ー し め た と き わ ー れ
ら は き ょ う だ ー い せ か い は ひ ー と
つ か ん き の い た ー だ き ふ み ー
し め た と き わ ー れ ら は き ょ う
だ ー い せ か い は ひ ー と つ

1. 愛こそ歓喜にみちびく光
さえぎる苦難を越えて進まん
歓喜の頂いただき踏みしめた時
我らは兄弟世界は一つ
歓喜の頂いただき踏みしめた時
我らは兄弟世界は一つ

2. 気け高たかき乙女を勝ち得たものよ
手を取りかんこ歓呼の叫びをあげよ
人間一人で何が出来よう
愛なき孤独の人は立ち去れ
人間一人で何が出来よう
愛なき孤独の人は立ち去れ